

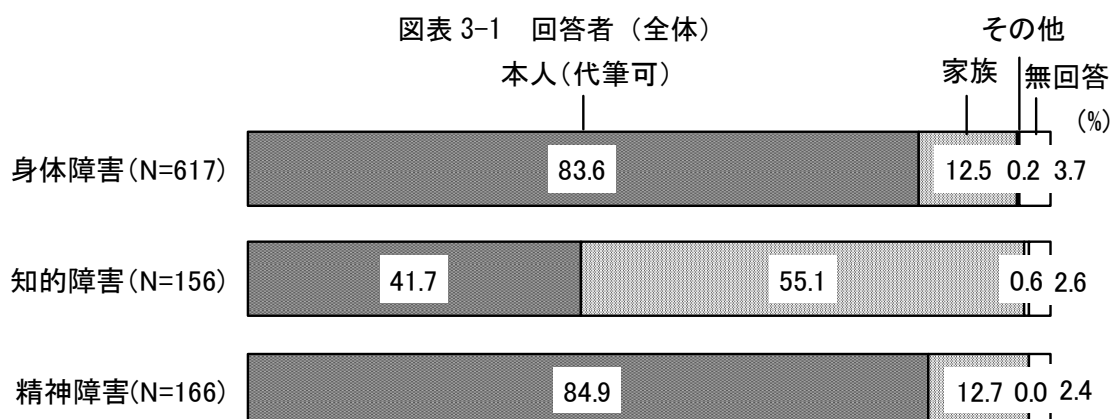
## 第3章 障害のある方の地域生活に関する調査（18歳以上）

### 1 基本属性

#### (1) 回答者（問1）

問1 この調査に回答していただく方はどなたですか。（1つに○）

身体障害は「本人（代筆可）」が83.6%、知的障害は「家族」が55.1%、精神障害は「本人（代筆可）」が84.9%でそれぞれ最も多い。

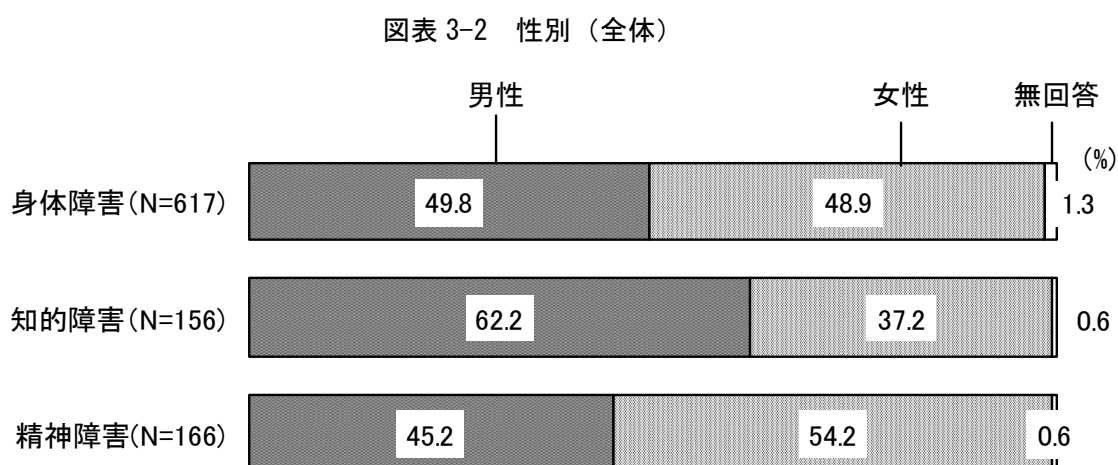


#### (2) 性別・年齢（問2）

問2 あなたの性別をお答えください。（1つに○）

また、平成25年10月1日現在の年齢をご記入ください。

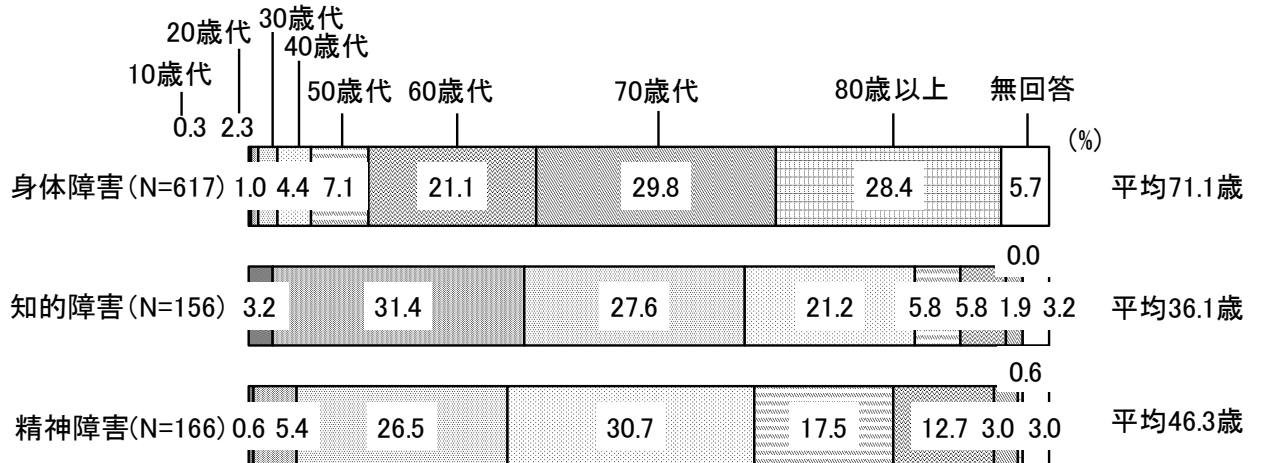
身体障害は「男性」が49.8%、「女性」が48.9%、知的障害は「男性」が62.2%、「女性」が37.2%、精神障害は「男性」が45.2%、「女性」が54.2%である。



## II アンケート調査の結果

身体障害は、60歳以上が79.3%である。知的障害は「20歳代（31.4%）」が最も多く、「30歳代（27.6%）」が続いている。精神障害は「40歳代（30.7%）」、「30歳代（26.5%）」の順が続いている。平均年齢は、身体障害が71.1歳、知的障害が36.1歳、精神障害が46.3歳である。

図表 3-3 年齢（全体）

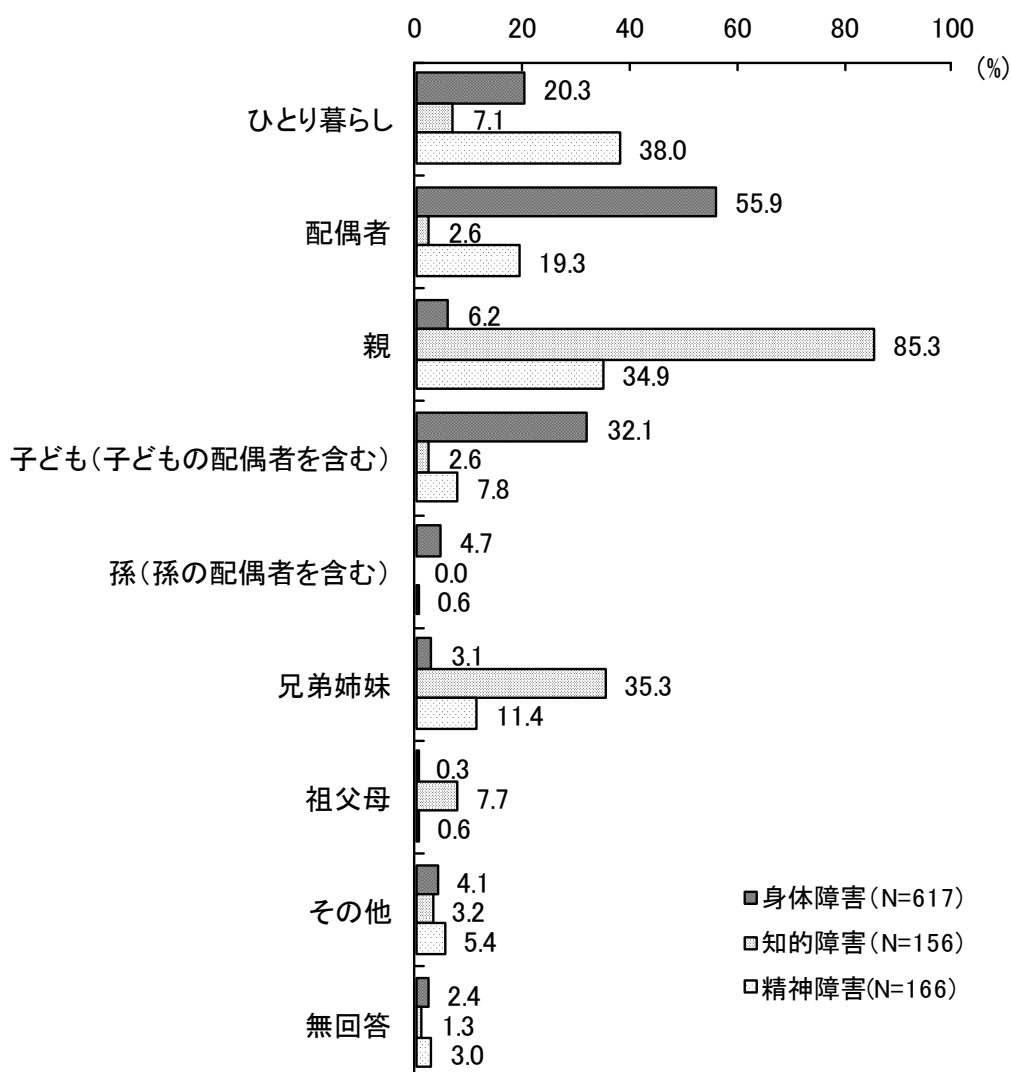


(3) 家族の構成（問3）

問3 現在、あなたがいっしょに暮らしているご家族は、あなたからみて、どなたですか。  
（いくつでも〇）

身体障害は、「配偶者（55.9%）」が最も多く、「子ども（子どもの配偶者を含む）（32.1%）」が続いている。知的障害は、「親（85.3%）」が最も多い。精神障害は、「ひとり暮らし（38.0%）」が最も多く、「親（34.9%）」が続いている。

図表 3-4 家族の構成（全体：複数回答）

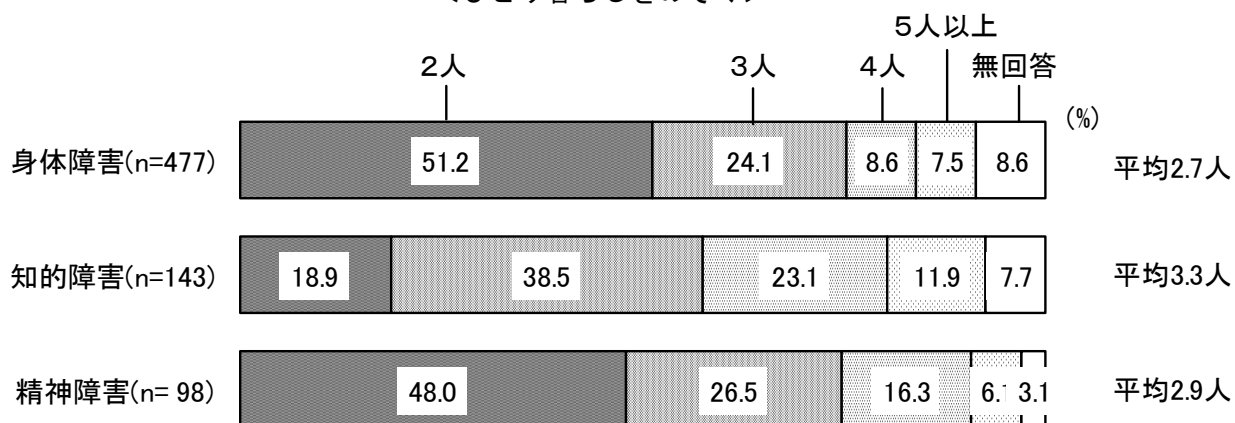


(4) 家族の人数 (問3-1)

問3-1 問3で2～8（「ひとり暮らし」をのぞく）と答えた方におたずねします。  
 現在いっしょに暮らしているご家族はあなたを含めて何人ですか。数字をご記入ください。

「ひとり暮らし」をのぞく回答者に本人を含めた家族人数をたずねたところ、平均は、身体障害者は2.7人、知的障害は3.3人、精神障害は2.9人となっている。

図表 3-5 家族の人数 (全体)  
 <ひとり暮らしをのぞく>



(5) 主な介護者の続柄、性別、年齢（問3-2）

問3-1 問3で2～8（「ひとり暮らし」をのぞく）と答えた方におたずねします。  
 あなた（あて名のご本人）の主に介護や支援をしているご家族はどなたですか。あて名のご本人からみた続柄で回答してください。（1つに○）  
 また、○をつけた方の性別にも○をつけて、年齢をご記入ください。

「ひとり暮らし」をのぞく回答者に主な介護者の性別と年齢をたずねた。

身体障害の主な介護者は「配偶者（60.0%）」が最も多く、「男性」が37.1%、「女性」が56.3%、平均年齢は69.5歳である。

知的障害の主な介護者は「親（83.2%）」が最も多く、「男性」が18.5%、「女性」が77.3%、平均年齢は63.2歳である。

精神障害の主な介護者は「親（46.9%）」が最も多く、「男性」が28.3%、「女性」が67.4%、平均年齢は69.8歳である。

図表 3-6-① 主な介護者の続柄（全体）

<ひとり暮らしをのぞく>

	(%)									(歳)
	配偶者	親	子ども(子どもの配偶者を含む)	孫(孫の配偶者を含む)	兄弟姉妹	祖父母	その他の親族	いない	無回答	平均年齢
身体障害 (n=477)	60.0	5.9	18.0	0.2	2.1	0.0	1.0	6.9	5.9	69.5歳
知的障害 (n=143)	2.8	83.2	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	3.5	7.7	63.2歳
精神障害 (n=98)	29.6	46.9	1.0	0.0	4.1	0.0	2.0	10.2	6.1	69.8歳

図表 3-6-② 主な介護者の性別（全体）

<ひとり暮らしをのぞく>

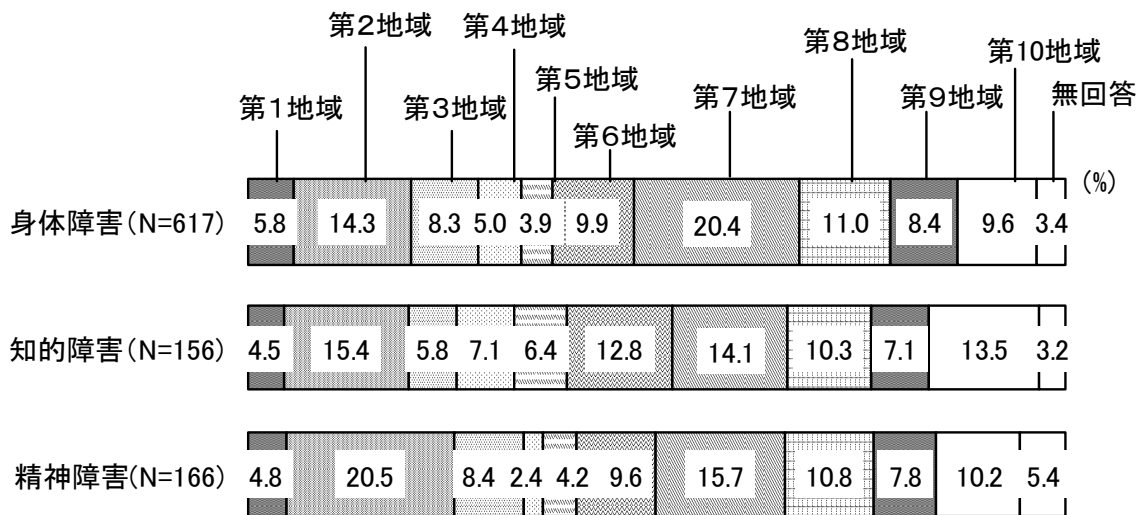
		(%)			(歳)
		性別			平均年齢
		男性	女性	無回答	
配偶者	身体障害 (n=286)	37.1	56.3	6.6	69.5
	知的障害 (n= 4)	75.0	0.0	25.0	57.0
	精神障害 (n= 29)	58.6	37.9	3.4	52.3
親	身体障害 (n= 28)	3.6	92.9	3.6	72.8
	知的障害 (n=119)	18.5	77.3	4.2	63.2
	精神障害 (n= 46)	28.3	67.4	4.3	69.8
子ども(子どもの配偶者を含む)	身体障害 (n= 86)	45.3	48.8	5.8	50.4
	知的障害 (n= 0)	0.0	0.0	0.0	-
	精神障害 (n= 1)	0.0	100.0	0.0	41.0
孫(孫の配偶者を含む)	身体障害 (n=1)	100.0	0.0	0.0	21.0
	知的障害 (n=0)	0.0	0.0	0.0	-
	精神障害 (n=0)	0.0	0.0	0.0	-
兄弟姉妹	身体障害 (n=10)	40.0	50.0	10.0	66.8
	知的障害 (n= 4)	50.0	50.0	0.0	65.0
	精神障害 (n= 4)	25.0	75.0	0.0	64.5
祖父母	身体障害 (n=0)	0.0	0.0	0.0	-
	知的障害 (n=0)	0.0	0.0	0.0	-
	精神障害 (n=0)	0.0	0.0	0.0	-
その他の親族	身体障害 (n=5)	40.0	40.0	20.0	51.5
	知的障害 (n=0)	0.0	0.0	0.0	-
	精神障害 (n=2)	100.0	0.0	0.0	37.5

(6) 居住地域（問4）

問4 現在、あなたがお住まいの地域はどこですか。  
記入例を参考に【町名】、【丁目】をご記入ください。

身体障害は「第7地域（20.4%）」、知的障害は「第2地域（15.4%）」、精神障害は「第2地域（20.5%）」が最も多くなっている。

図表 3-7 居住地域（全体）



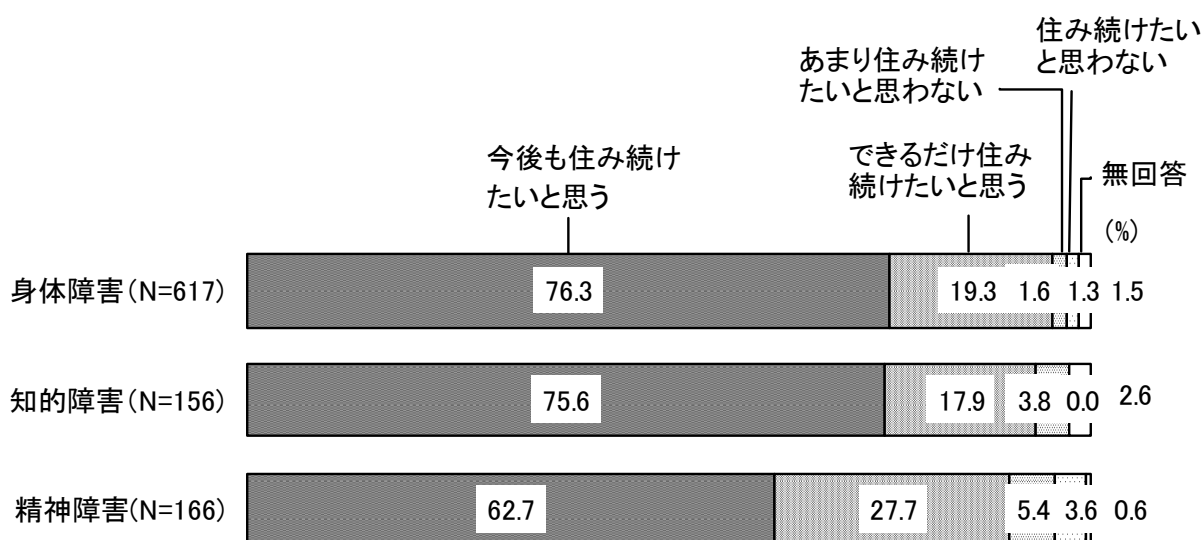
## 2 住まいや居留意向

### (1) 居留意向（問5）

問5 あなた（あて名のご本人）は、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。（1つに○）

今後も調布市に住み続けたいかたずねたところ、身体障害、知的障害、精神障害ともに「今後も住み続けたいと思う」が最も多く、それぞれ76.3%、75.6%、62.7%である。

図表 3-8 居留意向（全体）



### (2) 居留意向の理由（問5-1）

問5-1 問5で答えた理由を下の欄にご記入ください。

居留意向についての理由をたずねた。以下、主な理由を掲載する。

居留意向のある人は、いずれの障害においても「持ち家があるから」、「住みやすい」、「長い間住み親しんでいるから」、「交通が便利」、「環境がよい」、「気に入っているから」、「息子家族が近くに住んでいる」、「病院が近い」、「会社が近い」といった意見が共通してあげられた。

居留意向のない人は、いずれの障害においても「適切な施設がない」、「支援の待遇がよくないから」、「退職する予定なので故郷に帰る」、「市役所、図書館、医者などバスから歩くのが困難」、「駅前に商業施設が少ない」、「ダイヤ改正でますます都心までの通学通勤が不便になった」、「狭い」、「調布以外も知りたい」といった個別の事由による意見がみられた。

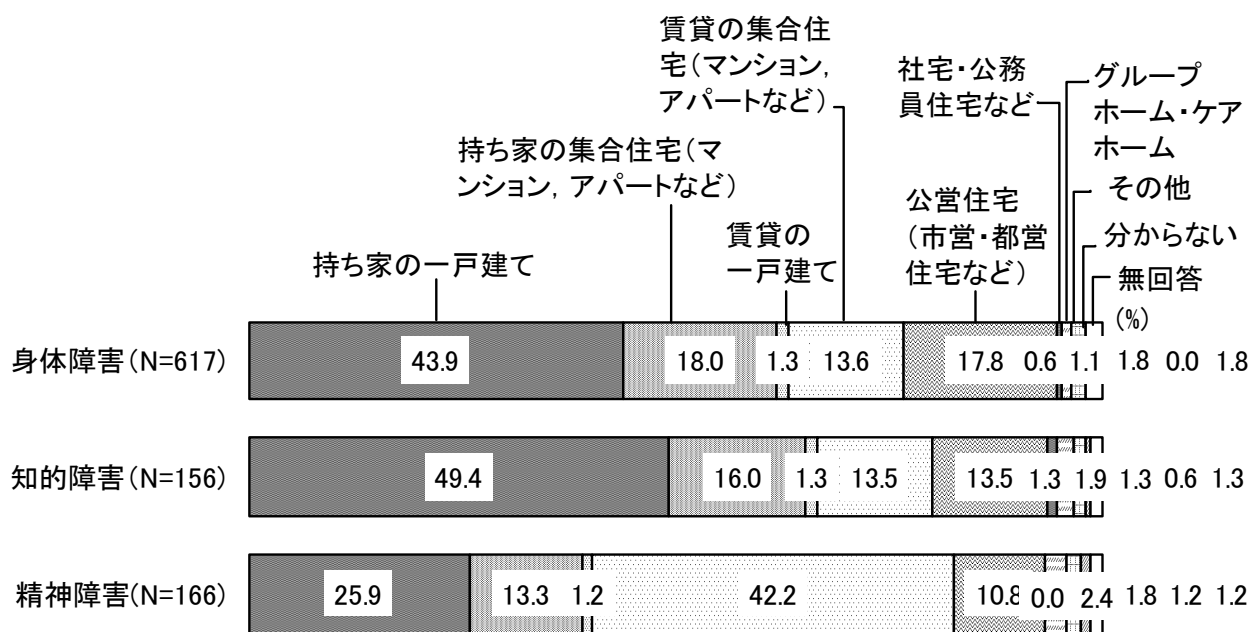
(3) 住居形態 (問6)

問6 あなたのお住まいは、次のどれですか。(1つに○)

身体障害、知的障害は、「持ち家の一戸建て」が最も多く、身体障害は43.9%、知的障害は49.4%である。

精神障害は、「賃貸の集合住宅(マンション・アパートなど)(42.2%)」が最も多い。

図表 3-9 住居形態 (全体)



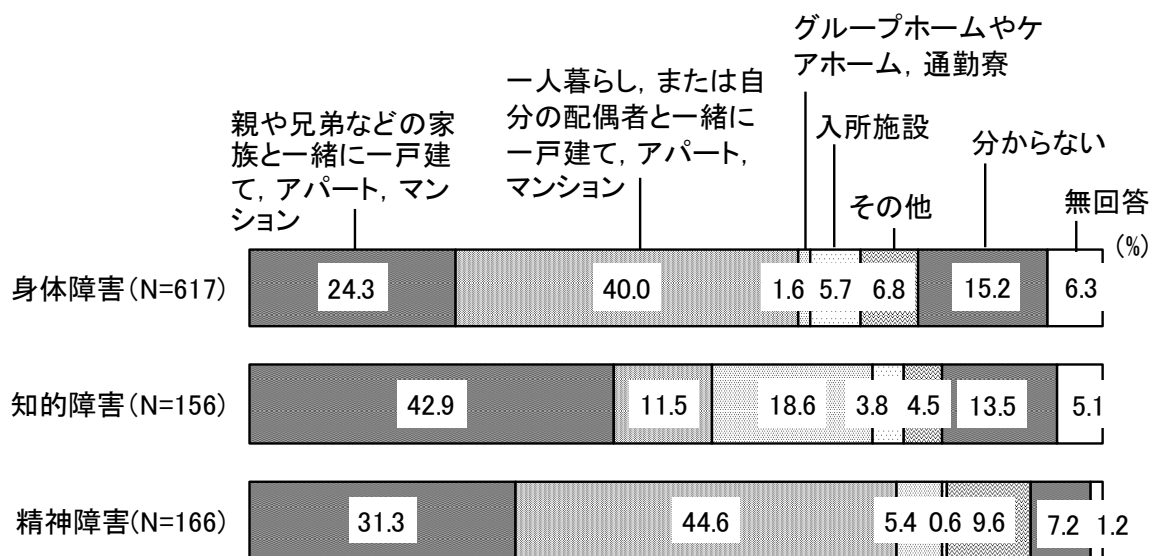
(4) 今後の居住形態の意向 (問7)

問7 あなたは今後、どのような住まいで生活したいと思いますか。ご希望のお住まい形態をお答えください。(1つに○)

今後の居住形態の意向は、身体障害、精神障害は、「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒の一戸建て、アパート、マンション」が最も多く、身体障害は40.0%、知的障害は42.9%である。知的障害は、「親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、アパート、マンション(42.9%)」が最も多い。



図表 3-10 今後の居住形態の意向（全体）



**身体障害**

家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て・アパート・マンション」が51.2%と高い割合となっている。

障害の程度別では、5級と6級で「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て・アパート・マンション」の割合が高く、家族構成や障害の程度で今後の居住形態の意向に差が見られる。

図表 3-11 今後の居住形態の意向【身体障害】

（全体、家族構成別、障害の程度別）

		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
別	家族構成	全体 (N=617)	親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、アパート、マンション	一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て、アパート、マンション	グループホームやケアホーム、通勤寮	入所施設	その他	分からない	無回答
全体		(N=617)	24.3	40.0	1.6	5.7	6.8	15.2	6.3
家族構成別	ひとり暮らし	(n=125)	9.6	51.2	5.6	12.8	5.6	14.4	0.8
	その他	(n=477)	28.7	37.9	0.6	4.0	7.1	15.1	6.5
障害の程度別	1級	(n=202)	27.7	40.6	0.0	4.5	8.9	12.4	5.9
	2級	(n=71)	29.6	32.4	7.0	4.2	2.8	18.3	5.6
	3級	(n=92)	22.8	37.0	1.1	3.3	10.9	17.4	7.6
	4級	(n=157)	21.7	44.6	1.9	8.9	3.8	12.7	6.4
	5級	(n=24)	12.5	58.3	0.0	8.3	0.0	16.7	4.2
	6級	(n=29)	10.3	55.2	0.0	6.9	10.3	17.2	0.0

## II アンケート調査の結果

### 知的障害

今後の居住形態の意向については、全体では「親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て、アパート、マンション（42.9%）」が最も多く、「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て・アパート・マンション（11.5%）」が続いている。家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「グループホームやケアホーム、通園寮」が45.5%と高い割合となっている。

図表 3-12 今後の居住形態の意向【知的障害】

（全体、家族構成別、障害の程度別）

(%)

		トと親、 一や マ戸兄 ン建弟 シてな ヨ、ど ンアの パ家 一族	トと一 人 マ戸暮 ン建ら シてし ヨ、 ンア配 偶 者	アグ ホル ムブ ホ ム 通 勤 寮 や ケ	入 所 施 設	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答	
全	体	(N=156)	42.9	11.5	18.6	3.8	4.5	13.5	5.1
別	ひとり暮らし	(n=11)	9.1	27.3	45.5	0.0	0.0	18.2	0.0
	その他	(n=143)	45.5	10.5	16.1	4.2	4.9	13.3	5.6
障 害 の 程 度 別 の 程	1度	(n=5)	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2度	(n=35)	34.3	8.6	25.7	8.6	5.7	14.3	2.9
	3度	(n=44)	52.3	4.5	15.9	4.5	4.5	11.4	6.8
	4度	(n=59)	42.4	20.3	15.3	1.7	3.4	15.3	1.7

### 精神障害

今後の居住形態の意向については、全体では「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て・アパート・マンション（44.6%）」が最も多く、「親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て・アパート・マンション（31.3%）」が続いている。

家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て・アパート・マンション」が65.1%と高い割合となっており、その他では「親や兄弟などの家族と一緒に一戸建て・アパート・マンション」が50.0%と半数を占めている。

障害の程度別でみると、3級で「一人暮らし、または自分の配偶者と一緒に一戸建て・アパート・マンション」が55.8%と半数を超え、高い割合となっている。

図表 3-13 今後の居住形態の意向【精神障害】

（全体、家族構成別、障害の程度別）

(%)

		トと親、 一や マ戸兄 ン建弟 シてな ヨ、ど ンアの パ家 一族	トと一 人 マ戸暮 ン建ら シてし ヨ、 ンア配 偶 者	アグ ホル ムブ ホ ム 通 勤 寮 や ケ	入 所 施 設	そ の 他	分 か ら な い	無 回 答	
全	体	(N=166)	31.3	44.6	5.4	0.6	9.6	7.2	1.2
別	ひとり暮らし	(n=63)	3.2	65.1	7.9	1.6	11.1	11.1	0.0
	その他	(n=98)	50.0	31.6	4.1	0.0	8.2	4.1	2.0
程 度 害 別 の	1級	(n=12)	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
	2級	(n=82)	34.1	40.2	4.9	0.0	11.0	8.5	1.2
	3級	(n=43)	27.9	55.8	7.0	2.3	4.7	2.3	0.0

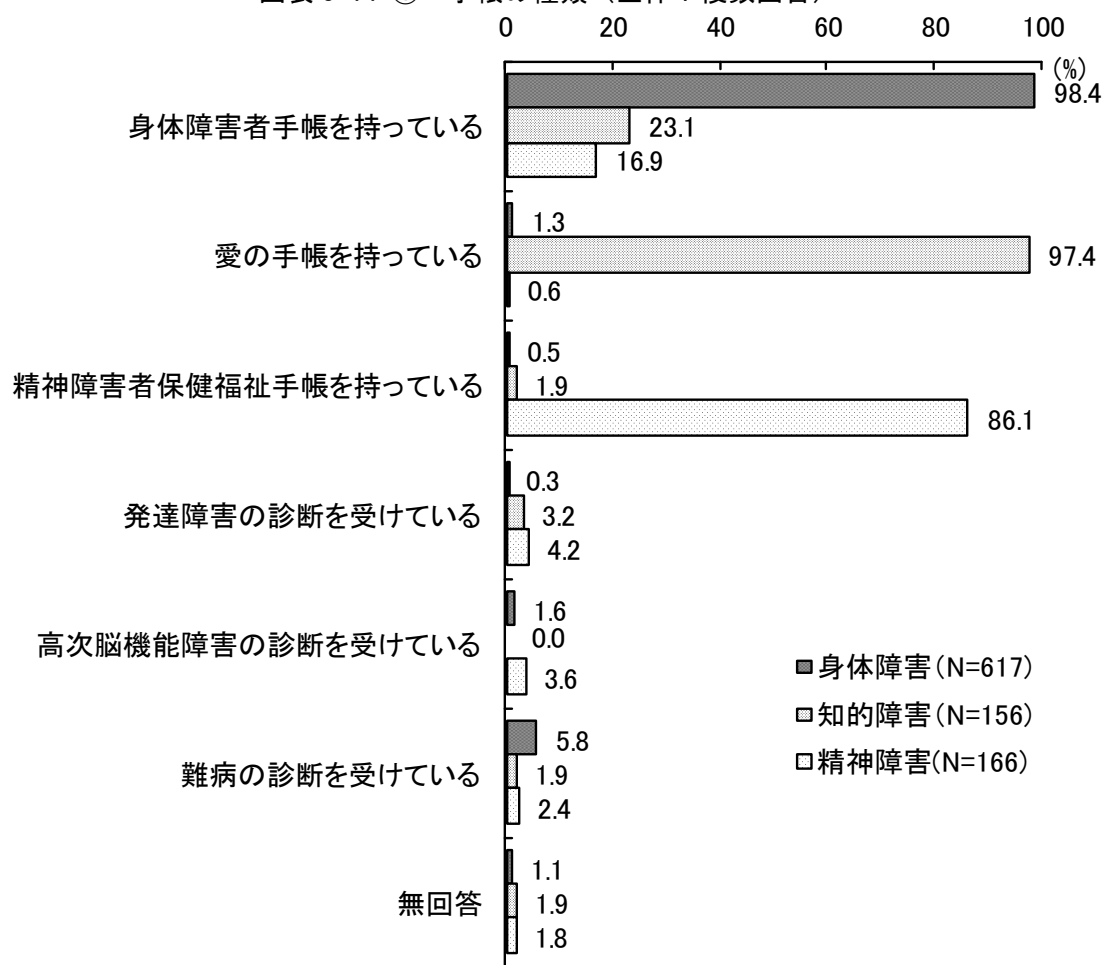
### 3 身体状況と困りごと

#### (1) 持っている手帳の種類と等級（問8）

問8 あなた（あて名のご本人）がお持ちの手帳または受けている診断名について、あてはまるものすべてに○をしてください。また、手帳の等級と診断名をご記入ください。

持っている手帳の種類は、身体障害では、「身体障害者手帳を持っている（98.4%）」、知的障害では、「愛の手帳を持っている（97.4%）」、精神障害では「精神障害者保健福祉手帳を持っている（86.1%）」がそれぞれ最も多い。

図表 3-14-① 手帳の種類（全体：複数回答）

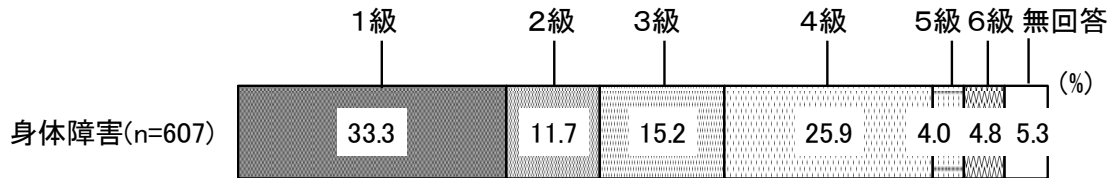


## II アンケート調査の結果

身体障害では、身体障害者手帳の「1級 (33.3%)」が最も多く、知的障害では、愛の手帳の「4度 (38.8%)」が最も多く、精神障害では、精神障害者保健福祉手帳の「2級 (57.3%)」が最も多い。

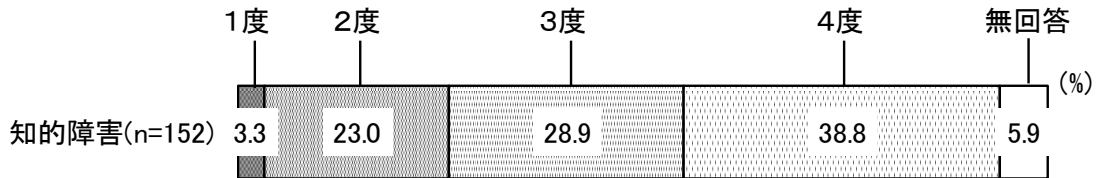
図表 3-14-② 身体障害者手帳の等級 (全体)

<身体障害者手帳を持っている人>



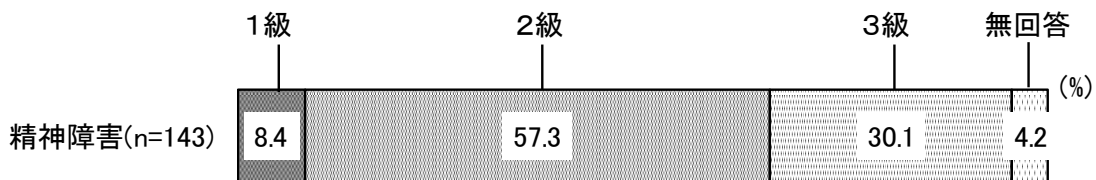
図表 3-14-③ 愛の手帳の等級 (全体)

<愛の手帳を持っている人>



図表 3-14-④ 精神障害者保健福祉手帳の等級 (全体)

<精神障害者保健福祉手帳を持っている人>



(2) 障害の部位（問8-1）

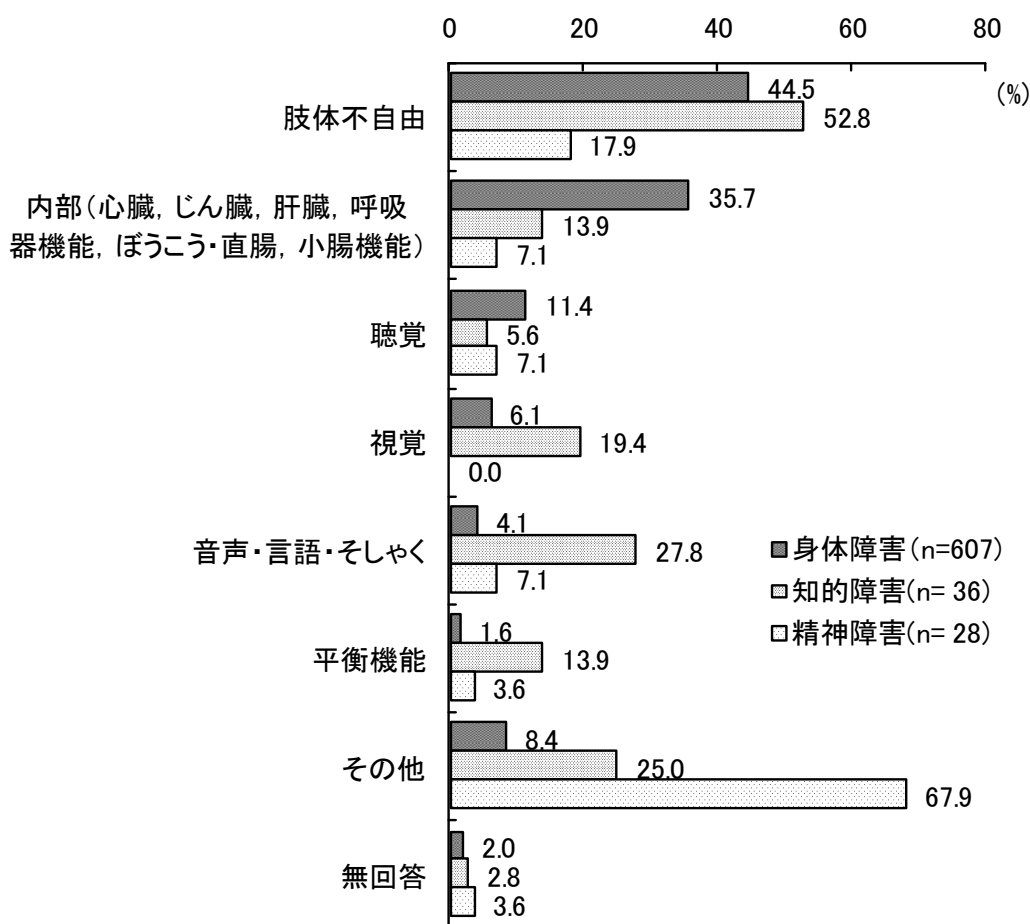
問8-1 問8で「1. 身体障害者手帳を持っている」と答えた方におたずねします。障害の部位はどれですか。（いくつでも○）

また、○をしたもののうち、主な障害を1つだけ選び◎をしてください。

身体障害者手帳を持っていると答えた方に障害の部位をたずねたところ、身体障害、知的障害、精神障害ともに「肢体不自由」が最も多く、身体障害は44.5%、知的障害は52.8%、精神障害は17.9%となっている。主な障害の部位も「肢体不自由」が最も多くなっている。

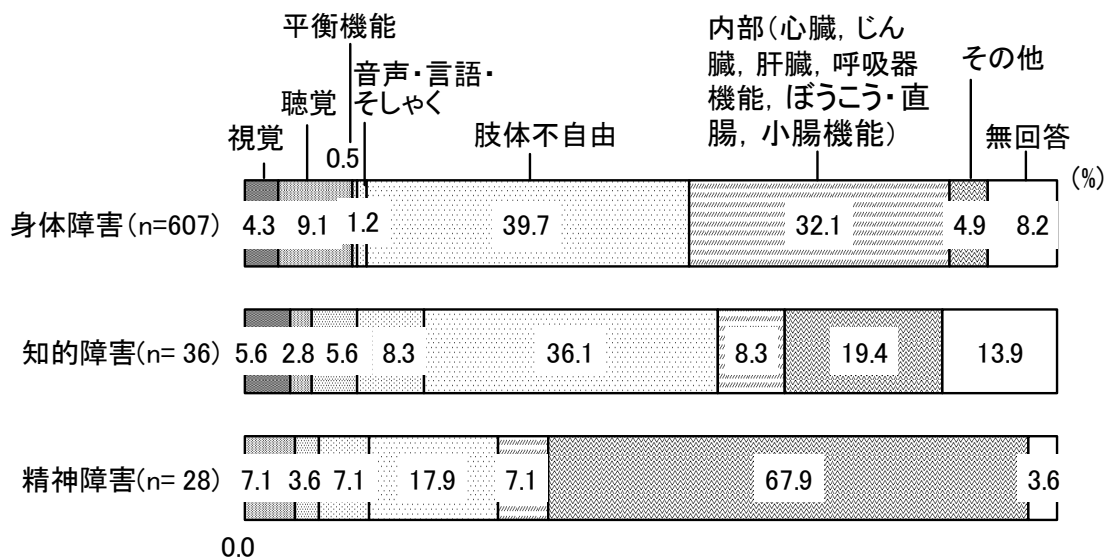
図表 3-15-① 障害の部位（全体：複数回答）

<身体障害者手帳を持っている人>



図表 3-15-② 障害の部位（主な障害）（全体）

<身体障害手帳を持っている人>

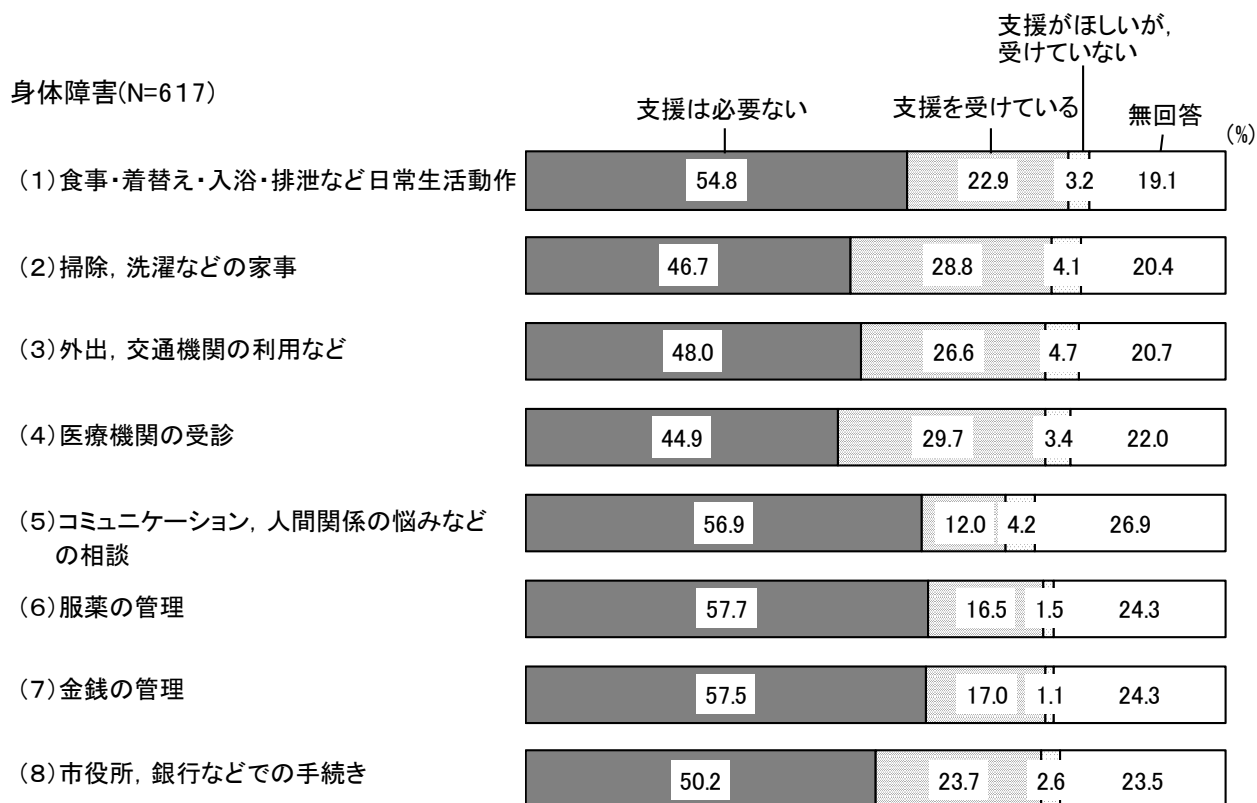


(3) 日常生活への支援の有無（問9）

問9 以下の（1）から（8）について、あなたは現在、家族、ヘルパーなどによる支援を受けていますか。（それぞれ1つに○）

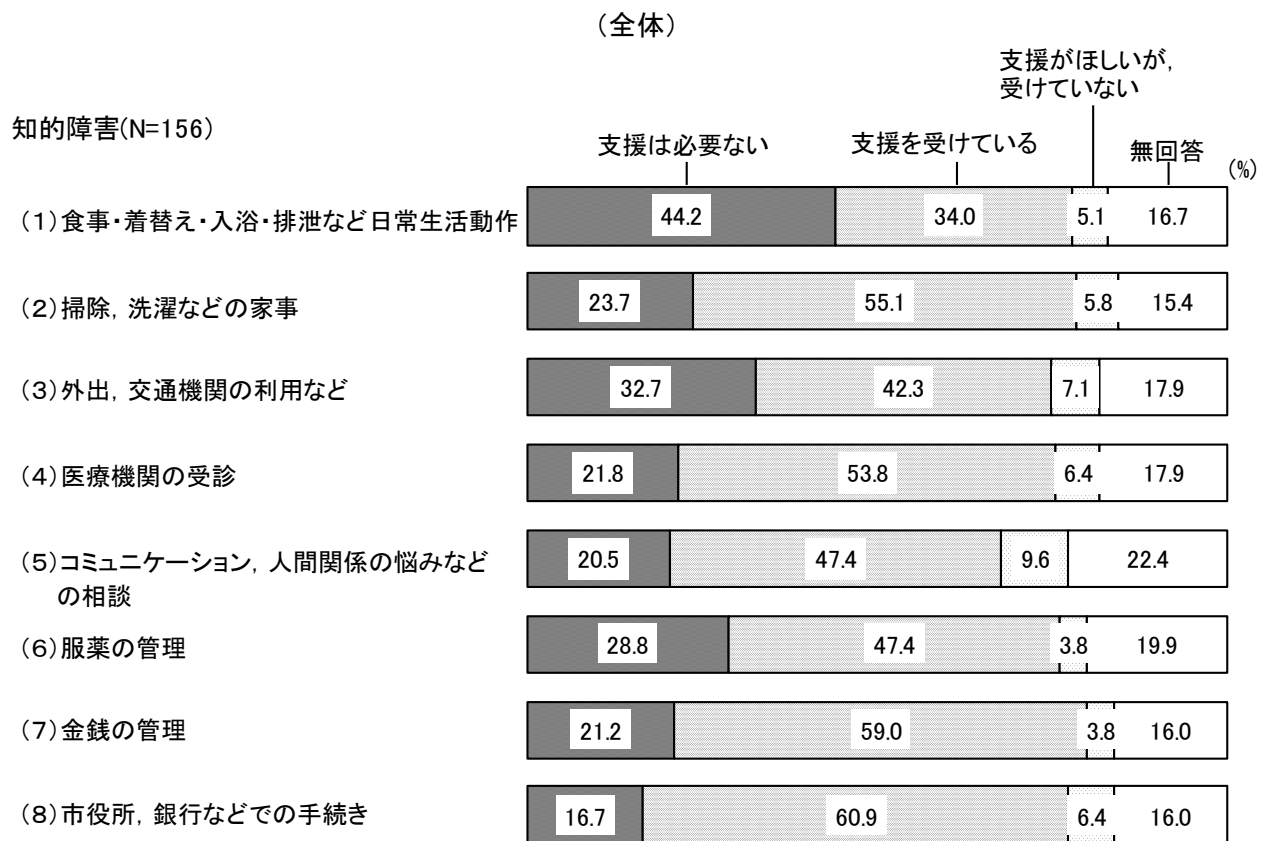
日常生活の8項目について家族、ヘルパーなどによる支援の有無をたずねた。  
 身体障害は、「支援を受けている」は、『医療機関の受診（29.7%）』が最も多く、『掃除、洗濯などの家事（28.8%）』が続いている。  
 知的障害は、「支援を受けている」は、『市役所、銀行などでの手続き（60.9%）』が最も多く、『金銭の管理（59.0%）』が続いている。  
 精神障害は、「支援を受けている」は、『医療機関の受診（30.7%）』が最も多く、『コミュニケーション、人間関係の悩みなどの相談（29.5%）』が続いている。精神障害では『コミュニケーション、人間関係の悩みなどの相談』について「支援がほしいが受けていない」が23.5%となっている。

図表 3-16 日常生活への支援の有無【身体障害】  
(全体)

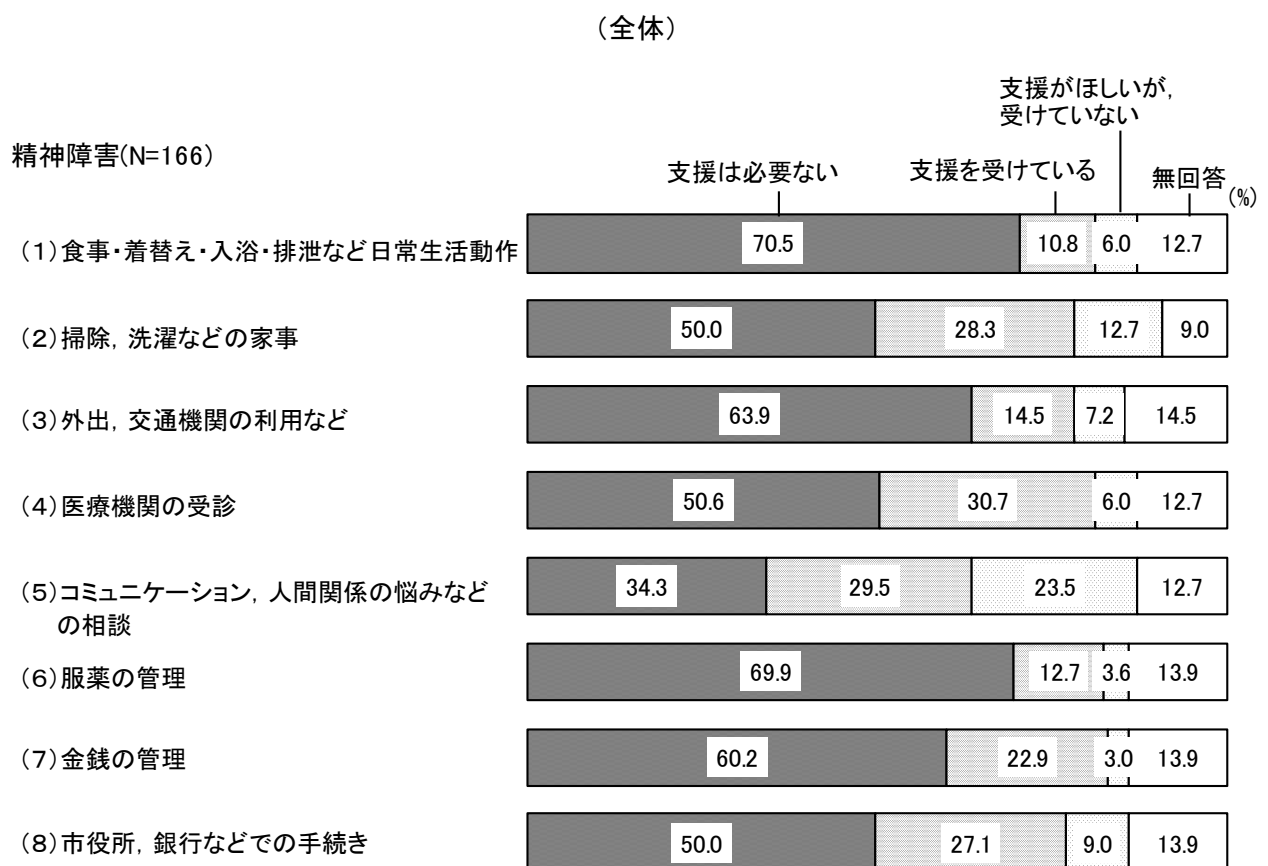


## II アンケート調査の結果

図表 3-17 日常生活への支援の有無【知的障害】



図表 3-18 日常生活への支援の有無【精神障害】





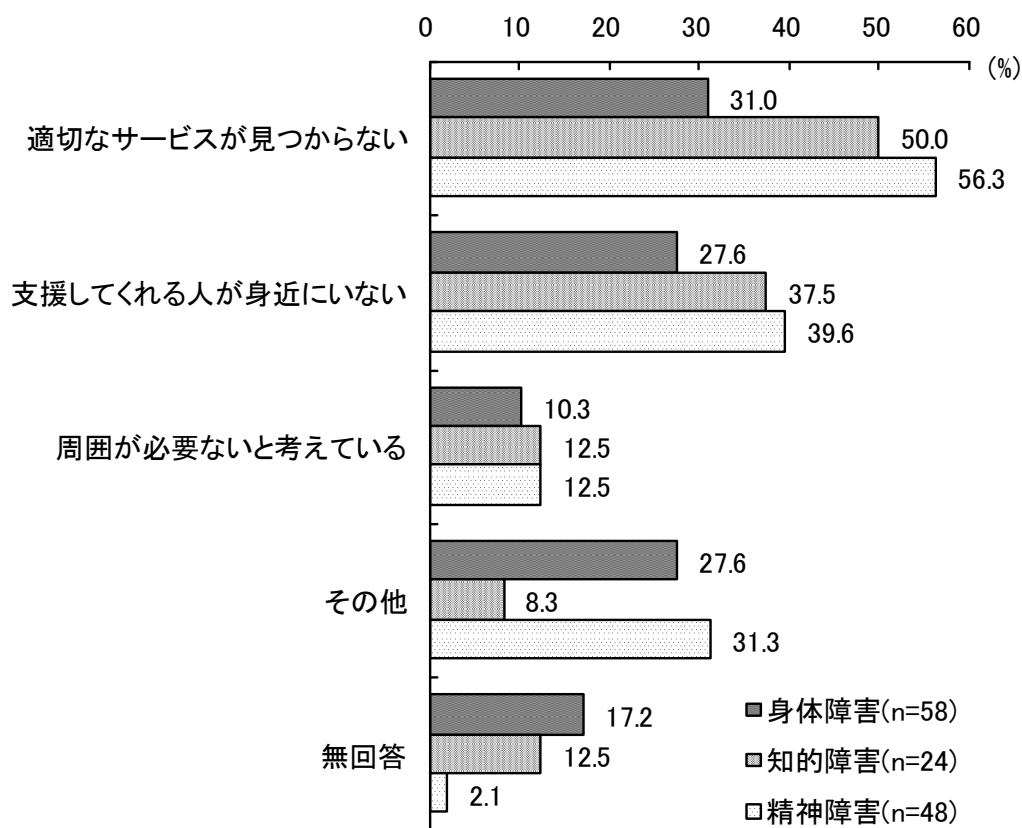
(4) 支援を受けていない理由（問9-1）

問9-1 問9で「支援がほしいが、受けていない」と答えた方におたずねします。支援を受けていない理由はどのようなことですか。（いくつでも〇）

問9で「支援がほしいが受けていない」と答えた人にその理由をたずねた。身体障害、知的障害、精神障害ともに「適切なサービスが見つからない」が最も多く、身体障害は31.0%、知的障害37.5%、精神障害39.6%となっている。

図表 3-19 支援を受けていない理由（全体：複数回答）

<支援がほしいが受けていない人>



## II アンケート調査の結果

### 身体障害

家族構成別にみると、ひとり暮らしでは「支援してくれる人が身近にいない」が41.2%と最も多くなっている。その他では「適切なサービスが見つからない」が最も多く32.6%である。

つながり感別では、感じる人は「適切なサービスが見つからない」が最も多く42.9%であるが、感じない人は「支援してくれる人が身近にいない」が37.0%となっている。

図表 3-20 支援を受けていない理由【身体障害】（全体，家族構成別，つながり感別：複数回答）  
 <支援がほしいが受けていない人>

(%)

		つ適切なサービスが見つ	身近にいてくれる人が	え周ているが必要ないと考	その他	無回答
全	体 (n=58)	31.0	27.6	10.3	27.6	17.2
別 構 家	ひとり暮らし (n=12)	25.0	33.3	8.3	41.7	0.0
	その他 (n=46)	32.6	26.1	10.9	23.9	21.7
感 が つ	感じる (n=28)	42.9	17.9	10.7	21.4	21.4
	別 り な 感じない (n=27)	22.2	37.0	11.1	29.6	14.8

### 知的障害

つながり感別では、感じる人は「支援してくれる人が身近にいない」が28.6%であるが、感じない人は「支援してくれる人が身近にいない」が41.2%と『感じる』人を12.6ポイント上回っている。

図表 3-21 支援を受けていない理由【知的障害】（全体，家族構成別，つながり感別：複数回答）  
 <支援がほしいが受けていない人>

(%)

		つ適切なサービスが見つ	身近にいてくれる人が	え周ているが必要ないと考	その他	無回答
全	体 (n=24)	50.0	37.5	12.5	8.3	12.5
別 構 家	ひとり暮らし (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他 (n=24)	50.0	37.5	12.5	8.3	12.5
感 が つ	感じる (n=7)	14.3	28.6	28.6	0.0	28.6
	別 り な 感じない (n=17)	64.7	41.2	5.9	11.8	5.9

**精神障害**

つながり感別では、感じる人、感じない人とも「適切なサービスが見つからない」が最も多いが、続く「支援してくれる人が身近にいない」を感じる人は21.4%、感じない人は47.1%となっており、『感じない』人が25.7ポイント上回っている。

図表 3-22 支援を受けていない理由【精神障害】（全体，家族構成別，つながり感別：複数回答）  
 <支援がほしいが受けていない人>

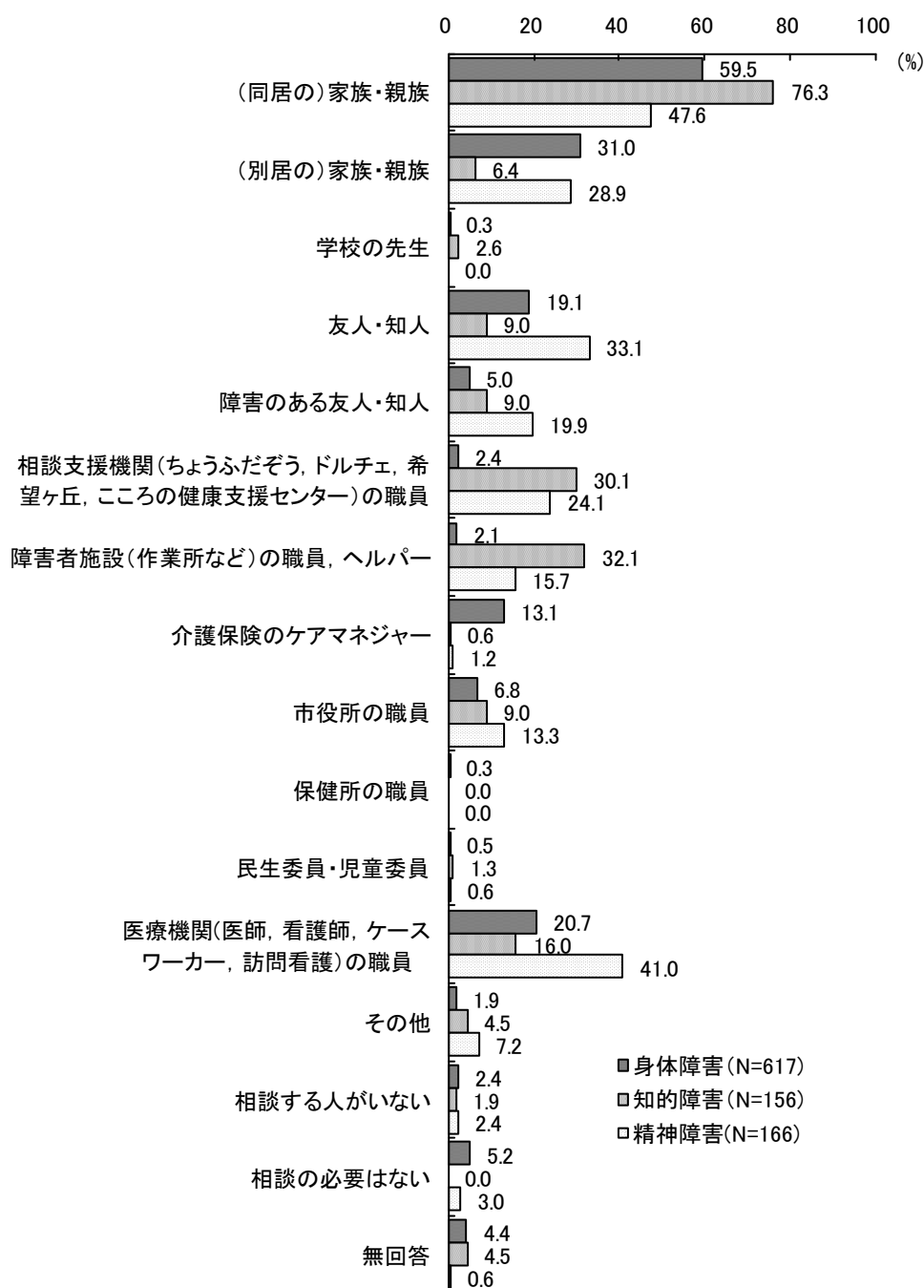
		(%)				
		つ 適 か 切 ら な い サ ー ビ ス が 見	身 支 近 援 に し て い な く い れ る 人 が	え 周 て 困 い が 必 要 な い と 考	そ の 他	無 回 答
全	体 (n=48)	56.3	39.6	12.5	31.3	2.1
別 構 家 成 族	ひとり暮らし (n=24)	62.5	37.5	8.3	20.8	0.0
	その他 (n=23)	52.2	39.1	13.0	39.1	4.3
感 が つ 別 り な	感じる (n=14)	57.1	21.4	7.1	28.6	7.1
	感じない (n=34)	55.9	47.1	14.7	32.4	0.0

(5) 悩みや困ったことがある場合の相談相手（問 10）

問 10 あなたは、悩みや困ったことがある場合、主にどなたに相談しますか。  
（いくつでも○）

身体障害、知的障害、精神障害ともに「(同居の) 家族・親族」が最も多く、その割合はそれぞれ、59.5%、76.3%、47.6%となっている。精神障害では、次に「医療機関（医師、看護師、ケースワーカー、訪問看護）の職員（41.0%）」が続いている。

図表 3-23 悩みや困ったことがある場合の相談先（全体：複数回答）



**身体障害**

年代別にみると、65歳未満、65歳以上とも「(同居の) 家族・親族」が最も多いが、『65歳未満』は2位に「友人・知人 (31.8%)」となっており、65歳以上では「(別居の) 家族・親族 (32.5%)」となっている。

家族構成別では、ひとり暮らしの人は「(別居の) 家族・親族 (59.2%)」が最も多く、「友人・知人 (28.0%)」が続いている。その他では「(同居の) 家族・親族 (75.5%)」が最も多く、「(別居の) 家族・親族 (23.9%)」が続いている。

図表 3-24 悩みや困ったことがある場合の相談先【身体障害】

(全体、年代別、家族構成別：複数回答)

		(同居の) 家族・親族	(別居の) 家族・親族	医療機関(医師、看護師、介護職員の職員)	友人・知人	介護保険のケアマネジャー	市役所の職員	障害のある友人・知人	相談センター(地域の健康支援センター)の職員	相談支援機関(ちようふだぞう、ドルチェ、希望の丘、このころの職員)
全	体 (N=617)	59.5	31.0	20.7	19.1	13.1	6.8	5.0	2.4	
年	10歳代 (n=2)	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	20歳代 (n=6)	66.7	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	
	30歳代 (n=14)	64.3	28.6	28.6	35.7	0.0	28.6	21.4	21.4	
	40歳代 (n=27)	59.3	37.0	25.9	22.2	3.7	11.1	7.4	7.4	
	50歳代 (n=44)	63.6	27.3	13.6	47.7	4.5	4.5	15.9	4.5	
	60歳代 (n=130)	67.7	22.3	20.0	20.8	6.9	5.4	6.2	0.8	
	70歳代 (n=184)	61.4	28.8	25.5	17.4	15.2	6.5	2.2	2.2	
	80歳代以上 (n=175)	50.9	40.6	17.7	10.3	21.1	6.9	0.6	0.6	
年	65歳未満 (n=151)	65.6	27.2	16.6	31.8	3.3	6.6	10.6	5.3	
	65歳以上 (n=431)	58.0	32.5	22.5	14.8	16.7	7.0	2.6	1.4	
家	ひとり暮らし (n=125)	4.0	59.2	28.8	28.0	14.4	9.6	7.2	4.8	
	その他 (n=477)	75.5	23.9	19.1	17.0	12.8	5.9	4.6	1.9	

		障害者施設(作業所、ヘルパーなど)の職員	民生委員・児童委員	保健所の職員	学校の先生	その他	相談する人がいない	相談の必要はない	無回答
全	体 (N=617)	2.1	0.5	0.3	0.3	1.9	2.4	5.2	4.4
年	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0
	20歳代 (n=6)	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	-	0.0
	30歳代 (n=14)	35.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	-	0.0
	40歳代 (n=27)	0.0	0.0	0.0	3.7	3.7	0.0	7.4	0.0
	50歳代 (n=44)	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	4.5	4.5
	60歳代 (n=130)	2.3	0.0	0.8	0.0	3.1	2.3	5.4	3.1
	70歳代 (n=184)	1.1	0.5	0.0	0.0	0.5	3.3	5.4	5.4
	80歳代以上 (n=175)	1.1	1.1	0.0	0.0	2.3	1.1	5.1	2.9
年	65歳未満 (n=151)	4.0	0.0	0.7	1.3	2.0	3.3	5.3	2.0
	65歳以上 (n=431)	1.6	0.7	0.0	0.0	1.6	2.1	5.1	4.2
家	ひとり暮らし (n=125)	4.8	0.8	0.0	0.8	1.6	5.6	6.4	1.6
	その他 (n=477)	1.5	0.4	0.4	0.2	2.1	1.5	4.8	4.0

Ⅱ アンケート調査の結果

**知的障害**

年代別にみると、65歳未満、65歳以上とも「(同居の) 家族・親族」が最も多いが、『65歳未満』は2位に「障害者施設(作業所など)の職員、ヘルパー(32.6%)」、「相談支援機関(ちょうふだぞう, ドルチェ, 希望ヶ丘, こころの健康支援センター)の職員(31.9%)」が続いている。65歳以上では「医療機関(医師, 看護師, ケースワーカー, 訪問看護)の職員(28.6%)」が2位にあげられている。

家族構成別では、ひとり暮らしの人は「相談支援機関(ちょうふだぞう, ドルチェ, 希望ヶ丘, こころの健康支援センター)の職員(72.7%)」が最も多く、続く「障害者施設(作業所など)の職員、ヘルパー(36.4%)」を大きく引き離している。その他では「(同居の) 家族・親族(82.5%)」が最も多く、続く「障害者施設(作業所など)の職員、ヘルパー(31.5%)」を大きく引き離している。

図表 3-25 悩みや困ったことがある場合の相談先【知的障害】  
(全体, 年代別, 家族構成別: 複数回答)

		(同居の) 家族・親族	障害者施設(作業所など)の職員、ヘルパー	相談支援機関(ちょうふだぞう, ドルチェ, 希望ヶ丘, こころの健康支援センター)の職員	医療機関(医師, 看護師, ケースワーカー, 訪問看護)の職員	友人・知人	障害のある友人・知人	市役所の職員	(別居の) 家族・親族
全	体 (N=156)	76.3	32.1	30.1	16.0	9.0	9.0	9.0	6.4
年 齢 別	10歳代 (n=5)	100.0	40.0	0.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	20歳代 (n=49)	93.9	32.7	34.7	20.4	14.3	14.3	6.1	8.2
	30歳代 (n=43)	69.8	25.6	25.6	11.6	7.0	7.0	4.7	2.3
	40歳代 (n=33)	75.8	39.4	36.4	15.2	6.1	6.1	12.1	3.0
	50歳代 (n=9)	44.4	33.3	44.4	11.1	0.0	0.0	11.1	22.2
	60歳代 (n=9)	33.3	33.3	33.3	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1
	70歳代 (n=3)	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
	80歳代以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満 (n=144)	77.1	32.6	31.9	16.0	9.7	9.0	8.3	6.3
	65歳以上 (n=7)	71.4	14.3	14.3	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n=11)	0.0	36.4	72.7	9.1	18.2	18.2	18.2	9.1
	その他 (n=143)	82.5	31.5	27.3	16.8	8.4	8.4	7.7	6.3

		学校の先生	民生委員・児童委員	介護保険のケアマネジャー	保健所の職員	その他	相談する人がいない	相談の必要はない	無回答
全	体 (N=156)	2.6	1.3	0.6	0.0	4.5	1.9	0.0	4.5
年 齢 別	10歳代 (n=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=49)	6.1	0.0	0.0	0.0	6.1	0.0	0.0	0.0
	30歳代 (n=43)	0.0	2.3	2.3	0.0	7.0	4.7	0.0	9.3
	40歳代 (n=33)	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0
	50歳代 (n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代 (n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
	70歳代 (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳代以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満 (n=144)	2.8	1.4	0.7	0.0	4.9	2.1	0.0	3.5
	65歳以上 (n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家 族 構 成 別	ひとり暮らし (n=11)	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1
	その他 (n=143)	2.8	0.7	0.7	0.0	4.2	1.4	0.0	3.5

**精神障害**

年代別にみると、65歳未満では「(同居の) 家族・親族 (48.3%)」が最も多く、「医療機関 (医師, 看護師, ケースワーカー, 訪問看護) の職員 (42.1%)」が続いている。『65歳未満』は「(同居の) 家族・親族」, 「(別居の) 家族・親族」がともに43.8%で最も多く、「医療機関 (医師, 看護師, ケースワーカー, 訪問看護) の職員 (37.5%)」が続いている。

家族構成別では、ひとり暮らしの人は「医療機関 (医師, 看護師, ケースワーカー, 訪問看護) の職員 (50.8%)」が最も多く、「(別居の) 家族・親族 (46.0%)」が続いている。その他では、「(同居の) 家族・親族 (79.6%)」が最も多く、続く「医療機関 (医師, 看護師, ケースワーカー, 訪問看護) の職員 (35.7%)」を大きく引き離している。

図表 3-26 悩みや困ったことがある場合の相談先【精神障害】  
(全体, 年代別, 家族構成別: 複数回答)

		(同居の) 家族・親族	医療機関 (医師, 看護師, ケースワーカー, 訪問看護) の職員	友人・知人	(別居の) 家族・親族	相談センター (このところの健康支援センター) の職員	相談支援機関 (ちよふだぞう, ドルチェ, ヒューマンサポート) の職員	障害のある友人・知人	障害者施設 (作業所など) の職員, ヘルパー	市役所の職員
全	体 (N=166)	47.6	41.0	33.1	28.9	24.1	19.9	15.7	13.3	
別年代	65歳未満 (n=145)	48.3	42.1	35.2	26.9	26.9	21.4	15.9	13.8	
	65歳以上 (n=16)	43.8	37.5	12.5	43.8	0.0	6.3	18.8	12.5	
別家族構成	ひとり暮らし (n=63)	0.0	50.8	38.1	46.0	33.3	31.7	22.2	25.4	
	その他 (n=98)	79.6	35.7	30.6	17.3	18.4	13.3	11.2	5.1	

		介護保険のケアマネ	民生委員・児童委員	学校の先生	保健所の職員	その他	相談する人がいない	相談の必要はない	無回答
全	体 (N=166)	1.2	0.6	0.0	0.0	7.2	2.4	3.0	0.6
別年代	65歳未満 (n=145)	0.0	0.7	0.0	0.0	7.6	2.8	3.4	0.7
	65歳以上 (n=16)	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0
別家族構成	ひとり暮らし (n=63)	1.6	1.6	0.0	0.0	7.9	3.2	0.0	1.6
	その他 (n=98)	1.0	0.0	0.0	0.0	7.1	2.0	5.1	0.0

(6) 利用しているサービス（問 11）

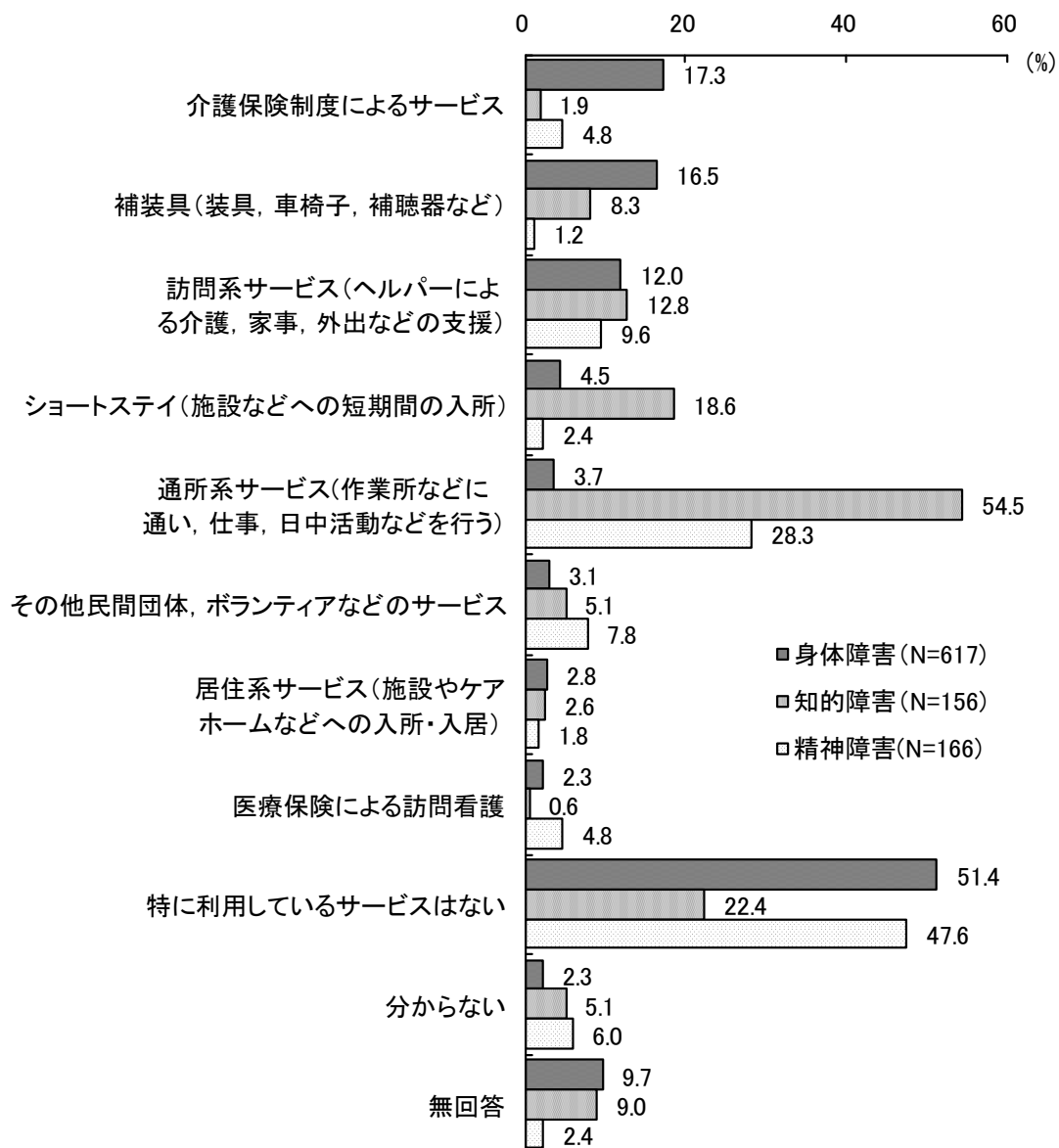
問 11 下記の中で利用しているサービスはどれですか。すべてお答えください。  
（いくつでも○）

身体障害では、「介護保険制度によるサービス（17.3%）」、「補装具（装具，車椅子，補聴器など）（16.5%）」の順に利用が多い。「特に利用しているサービスはない」が51.4%となっている。

知的障害では、「通所系サービス（作業所などに通い，仕事，日中活動などを行う）（54.5%）」が最も多い。

精神障害では、「通所系サービス（作業所などに通い，仕事，日中活動などを行う）（28.3%）」が最も多い。「特に利用しているサービスはない」が47.6%となっている。

図表 3-27 利用しているサービス（全体：複数回答）





## 4 就労等の状況

### (1) 普段の活動（問12）

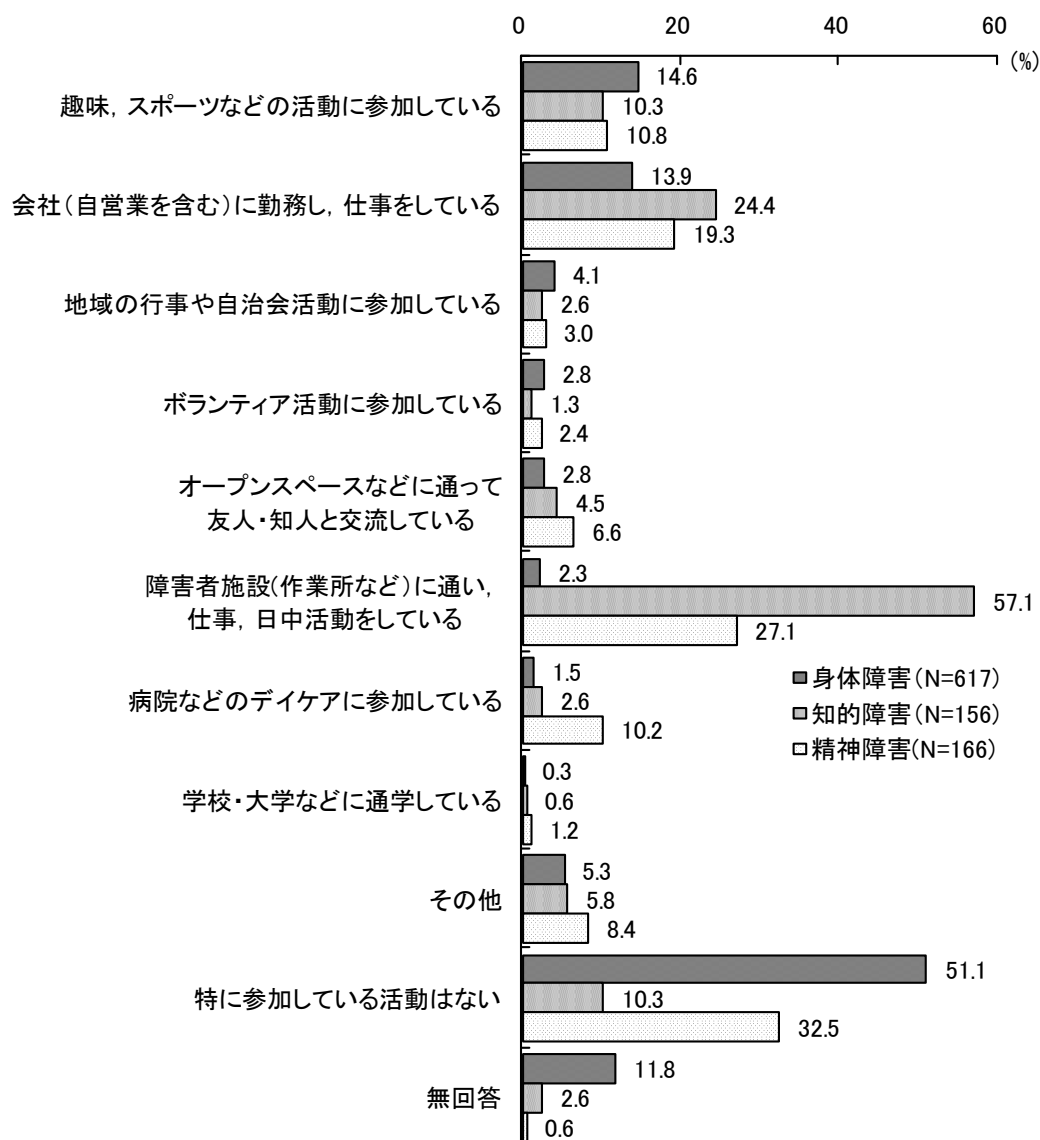
問12 普段の活動についておたずねします。あなた（あて名のご本人）はどのような活動をしていますか。（いくつでも○）

普段の活動は、身体障害は「趣味、スポーツなどの活動に参加している（14.6%）」、「会社（自営業を含む）に勤務し、仕事をしている（13.9%）」の順に多くなっている。また、「特に参加している活動はない」が51.1%となっている。

知的障害は「障害者施設（作業所など）に通い、仕事、日中活動をしている（57.1%）」が最も多い。

精神障害は「障害者施設（作業所など）に通い、仕事、日中活動をしている（27.1%）」が最も多い。また、「特に参加している活動はない」が32.5%となっている。

図表 3-28 普段の活動（全体：複数回答）



II アンケート調査の結果

**身体障害**

年代別にみると 65 歳未満では「会社（自営業を含む）に勤務し、仕事をしている」が 36.4%と、高い割合となっている。

障害の程度別では、5 級では「会社（自営業を含む）に勤務し、仕事をしている」が 25.0%と他の等級に比べ高い割合となっている。障害の内容別にみると、視覚の障害の方のうち「趣味・スポーツなどの活動に参加している」が 34.6%で、他の障害の種類に比べ高い割合となっている。

図表 3-29 普段の活動【身体障害】  
（全体、年齢別、年代別、障害の程度別：複数回答）

			るの趣味活動、にスポーツなど	をむ会社（自営業を含む）に勤務し、仕事を	活地域に行事や自治会	参加ボランティア活動に	人とオンライン交流している・知らない	い事などに施設（作業所など）に通い、仕事を	に病院などのデイケア	学学校・大学などに通
全 体		(N=617)	14.6	13.9	4.1	2.8	2.8	2.3	1.5	0.3
年 齢 別	10 歳代	(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	20 歳代	(n=6)	16.7	66.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7
	30 歳代	(n=14)	7.1	42.9	0.0	14.3	7.1	28.6	7.1	0.0
	40 歳代	(n=27)	11.1	55.6	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0
	50 歳代	(n=44)	20.5	27.3	6.8	4.5	4.5	9.1	0.0	0.0
	60 歳代	(n=130)	14.6	20.0	2.3	2.3	1.5	2.3	0.8	0.0
	70 歳代	(n=184)	16.8	6.0	6.0	3.8	1.6	0.0	2.7	0.0
	80 歳代以上	(n=175)	12.0	4.0	2.9	0.6	1.1	0.0	1.1	0.0
年 代 別	65 歳未満	(n=151)	13.9	36.4	3.3	4.0	4.0	6.6	1.3	1.3
	65 歳以上	(n=431)	14.8	6.0	4.4	2.3	1.2	0.5	1.6	0.0
障 害 の 程 度 別	1 級	(n=202)	14.9	15.3	4.5	3.5	3.5	2.5	1.0	0.5
	2 級	(n=71)	12.7	5.6	4.2	2.8	4.2	4.2	1.4	1.4
	3 級	(n=92)	14.1	18.5	4.3	3.3	0.0	2.2	2.2	0.0
	4 級	(n=157)	14.6	12.7	4.5	1.9	1.9	0.6	0.0	0.0
	5 級	(n=24)	20.8	25.0	4.2	0.0	8.3	0.0	4.2	0.0
	6 級	(n=29)	20.7	13.8	3.4	3.4	0.0	3.4	3.4	0.0

			そ の 他	動 特 は 不 加 入 活	無 回 答
全 体		(N=617)	5.3	51.1	11.8
年 齢 別	10 歳代	(n=2)	0.0	50.0	0.0
	20 歳代	(n=6)	0.0	0.0	16.7
	30 歳代	(n=14)	7.1	21.4	7.1
	40 歳代	(n=27)	3.7	25.9	7.4
	50 歳代	(n=44)	6.8	36.4	6.8
	60 歳代	(n=130)	5.4	50.8	7.7
	70 歳代	(n=184)	5.4	53.3	13.6
	80 歳代以上	(n=175)	5.1	61.1	15.4
年 代 別	65 歳未満	(n=151)	6.0	35.1	7.3
	65 歳以上	(n=431)	5.1	56.8	13.5
障 害 の 程 度 別	1 級	(n=202)	5.4	49.5	11.4
	2 級	(n=71)	7.0	52.1	14.1
	3 級	(n=92)	5.4	50.0	10.9
	4 級	(n=157)	5.7	56.1	8.9
	5 級	(n=24)	0.0	50.0	12.5
	6 級	(n=29)	6.9	44.8	6.9

**知的障害**

年齢別にみると20歳代では「会社（自営業を含む）に勤務し、仕事をしている」が36.7%と、高い割合となっている。また、40歳代では「障害者施設（作業所など）に通い仕事、日中活動をしている」が69.7%と高い。

障害の程度別にみると、4度では「会社（自営業を含む）に勤務し、仕事をしている」が44.1%と他の等級に比べ高い割合となっている。また、1～3度は「障害者施設（作業所など）に通い仕事、日中活動をしている」が8割以上となっている。

図表 3-30 普段の活動【知的障害】  
（全体、年齢別、年代別、障害の程度別：複数回答）

			るの趣味活動、にスポーツ参加してなど	をむ社（自営業を含む）に勤務し、仕事	活地域に参事や自治会	参加ランテイア活動に	人と通つて交流している・知らない	いる、日中活動をして	障害者施設（作業所など）に通い仕事	に病院などのデイケア	学して・大学などに通
全 体		(N=156)	10.3	24.4	2.6	1.3	4.5	57.1	2.6	0.6	
年 齢 別	10歳代	(n=5)	60.0	20.0	20.0	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0	
	20歳代	(n=49)	16.3	36.7	0.0	2.0	6.1	51.0	4.1	2.0	
	30歳代	(n=43)	7.0	23.3	2.3	0.0	2.3	55.8	2.3	0.0	
	40歳代	(n=33)	6.1	12.1	3.0	0.0	3.0	69.7	0.0	0.0	
	50歳代	(n=9)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0	0.0	
	60歳代	(n=9)	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	55.6	11.1	0.0	
	70歳代	(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	80歳代以上	(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年 代 別	65歳未満	(n=144)	11.1	25.0	2.8	1.4	4.2	58.3	2.1	0.7	
	65歳以上	(n=7)	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	
構 成 族 別	ひとり暮らし	(n=11)	0.0	27.3	9.1	0.0	36.4	54.5	9.1	0.0	
	その他	(n=143)	11.2	24.5	2.1	1.4	2.1	56.6	2.1	0.7	
障 害 別 の 程 度	1度	(n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	
	2度	(n=35)	8.6	0.0	5.7	0.0	0.0	85.7	0.0	2.9	
	3度	(n=44)	6.8	20.5	0.0	0.0	0.0	81.8	2.3	0.0	
	4度	(n=59)	16.9	44.1	3.4	3.4	11.9	23.7	5.1	0.0	

			そ の 他	動 特 は な 参 加 し て い る 活	無 回 答
全 体		(N=156)	5.8	10.3	2.6
年 齢 別	10歳代	(n=5)	0.0	0.0	0.0
	20歳代	(n=49)	2.0	4.1	2.0
	30歳代	(n=43)	7.0	11.6	2.3
	40歳代	(n=33)	9.1	12.1	3.0
	50歳代	(n=9)	0.0	11.1	0.0
	60歳代	(n=9)	11.1	33.3	0.0
	70歳代	(n=3)	33.3	33.3	33.3
	80歳代以上	(n=0)	0.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満	(n=144)	4.9	9.7	2.1
	65歳以上	(n=7)	28.6	28.6	14.3
構 成 族 別	ひとり暮らし	(n=11)	0.0	18.2	0.0
	その他	(n=143)	6.3	9.8	2.8
障 害 別 の 程 度	1度	(n=5)	0.0	20.0	0.0
	2度	(n=35)	2.9	5.7	2.9
	3度	(n=44)	6.8	0.0	0.0
	4度	(n=59)	6.8	18.6	1.7

## II アンケート調査の結果

### 精神障害

年代別にみると 65 歳以上では「特に参加している活動はない」が 50.0%と、半数を占めている。

障害の程度別では、1 級では「特に参加している活動はない」が 50.0%と他の等級に比べ高い割合となっている。また、3 級は「会社（自営業を含む）に勤務し、仕事をしている」が 37.2%となっている。

図表 3-31 普段の活動【精神障害】

(全体, 年齢別, 年代別, 障害の程度別 : 複数回答)

			の趣味活動, スポーツなど	を(社)に勤務し、仕事を	地域の行事や自治会	参加している	人と交流している	オーブンスペースなど(作業所)	障害者施設(作業所)	に参加している	学校・大学などに通
全 体		(N=166)	10.8	19.3	3.0	2.4	6.6	27.1	10.2	1.2	
別 年 代	65歳未満	(n=145)	9.7	21.4	2.1	2.8	6.9	26.9	9.7	1.4	
	65歳以上	(n=16)	12.5	0.0	6.3	0.0	0.0	25.0	18.8	0.0	
程 障 害 別 の	1 級	(n=12)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	
	2 級	(n=82)	9.8	12.2	2.4	1.2	4.9	36.6	8.5	2.4	
	3 級	(n=43)	11.6	37.2	4.7	4.7	9.3	9.3	4.7	0.0	

			その他	動特はな参加している活	無回答
全 体		(N=166)	8.4	32.5	0.6
別 年 代	65歳未満	(n=145)	9.0	31.0	0.7
	65歳以上	(n=16)	6.3	50.0	0.0
程 障 害 別 の	1 級	(n=12)	8.3	50.0	0.0
	2 級	(n=82)	8.5	32.9	1.2
	3 級	(n=43)	9.3	34.9	0.0

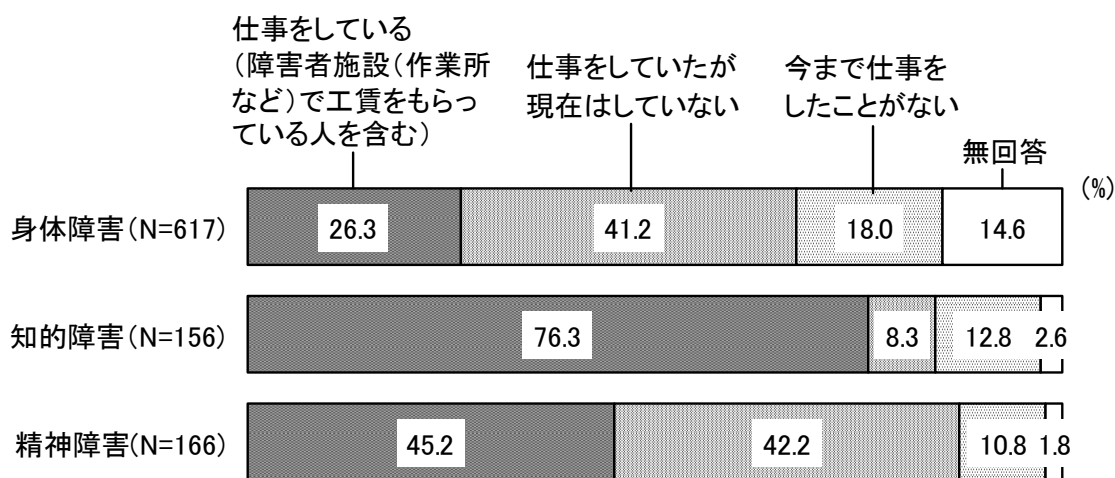
(2) 収入を伴う仕事の有無（問13）

問13 あなたは、現在給料や工賃を伴う仕事をしていますか。（1つに○）

「収入を伴う仕事をしている（障害者施設（作業所など）で工賃をもらっている人を含む）」は、身体障害は26.3%、知的障害は76.3%、精神障害は45.2%である。

年齢別にみると、身体障害は20歳代から40歳代で60%以上が仕事をしている。知的障害は、10歳代、20歳代、50歳代で80%以上、30歳代、40歳代で70%以上が仕事をしている。精神障害は、20歳代、30歳代で50%以上が仕事をしている。

図表3-32 収入を伴う仕事の有無（全体、年齢別）



		現在働いている (%)	働いていたが現在はしていない (%)	今まで働いたことがない (%)	無回答 (%)	
身体障害	全体 (N=617)	26.3	41.2	18.0	14.6	
	年齢別	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	100.0	0.0
		20歳代 (n=6)	66.7	0.0	16.7	16.7
		30歳代 (n=14)	64.3	21.4	14.3	0.0
		40歳代 (n=27)	63.0	22.2	14.8	0.0
		50歳代 (n=44)	40.9	45.5	9.1	4.5
		60歳代 (n=130)	29.2	50.8	14.6	5.4
		70歳代 (n=184)	19.0	43.5	19.0	18.5
		80歳代以上 (n=175)	16.0	37.7	22.3	24.0
知的障害	全体 (N=156)	76.3	8.3	12.8	2.6	
	年齢別	10歳代 (n=5)	80.0	0.0	20.0	0.0
		20歳代 (n=49)	81.6	4.1	12.2	2.0
		30歳代 (n=43)	72.1	11.6	14.0	2.3
		40歳代 (n=33)	75.8	6.1	15.2	3.0
		50歳代 (n=9)	88.9	11.1	0.0	0.0
		60歳代 (n=9)	55.6	22.2	22.2	0.0
		70歳代 (n=3)	33.3	33.3	0.0	33.3
		80歳代以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0
精神障害	全体 (N=166)	45.2	42.2	10.8	1.8	
	年齢別	10歳代 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0
		20歳代 (n=9)	55.6	11.1	33.3	0.0
		30歳代 (n=44)	52.3	40.9	6.8	0.0
		40歳代 (n=51)	45.1	49.0	3.9	2.0
		50歳代 (n=29)	41.4	41.4	13.8	3.4
		60歳代 (n=21)	47.6	38.1	14.3	0.0
		70歳代 (n=5)	0.0	40.0	40.0	20.0
		80歳代以上 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0

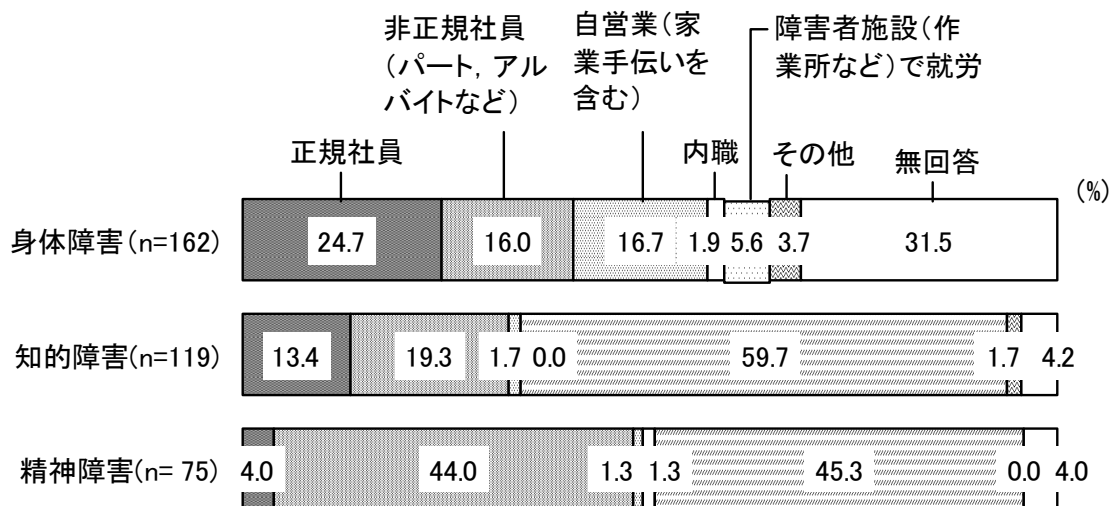
(3) 就労形態 (問 13-1)

問 13-1 問 13 で「1. 仕事をしている」と答えた方におたずねします。  
お仕事の形態は次のどれですか。(1つに○)

身体障害は「正規社員 (24.7%)」が最も多い。  
知的障害は「障害者施設 (作業所など) で就労 (59.7%)」が最も多い。  
精神障害は「障害者施設 (作業所など) で就労 (45.3%)」が最も多く、「非正規雇用 (パート, アルバイトなど) (44.0%)」が続いている。

図表 3-33 就労形態 (全体)

<仕事をしている人>



**身体障害**

仕事をしていると回答した方に仕事の形態をたずねたところ、全体では「正規社員」が24.7%、「自営業（家事手伝いを含む）」が16.7%、「非正規社員（パート、アルバイトなど）」が16.0%の順となっている。

年代別にみると、65歳未満の47.9%が「正規社員」との回答である。

図表 3-34 就労形態【身体障害】  
（全体、年齢別、年代別、障害の程度別）  
＜仕事をしている人＞

		正規社員	非正規社員（パート、アルバイトなど）	自営業（家事手伝いを含む）	内職	障害者施設（作業所など）で就労	その他	無回答
全 体 (n=162)		24.7	16.0	16.7	1.9	5.6	3.7	31.5
年 齢 別	10歳代 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=4)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代 (n=9)	55.6	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0
	40歳代 (n=17)	58.8	17.6	11.8	0.0	5.9	5.9	0.0
	50歳代 (n=18)	44.4	22.2	11.1	0.0	16.7	0.0	5.6
	60歳代 (n=38)	23.7	26.3	23.7	2.6	2.6	2.6	18.4
	70歳代 (n=35)	8.6	8.6	17.1	5.7	2.9	5.7	51.4
	80歳代以上 (n=28)	3.6	0.0	21.4	0.0	0.0	3.6	71.4
年 代 別	65歳未満 (n=71)	47.9	25.4	12.7	1.4	8.5	1.4	2.8
	65歳以上 (n=78)	5.1	7.7	20.5	2.6	2.6	5.1	56.4
障 害 の 程 度 別	1 級 (n=56)	23.2	10.7	25.0	1.8	5.4	5.4	28.6
	2 級 (n=15)	13.3	40.0	0.0	0.0	13.3	0.0	33.3
	3 級 (n=30)	36.7	16.7	13.3	3.3	0.0	0.0	30.0
	4 級 (n=36)	25.0	16.7	16.7	2.8	2.8	0.0	36.1
	5 級 (n=7)	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9
	6 級 (n=10)	20.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	40.0

## II アンケート調査の結果

### 知的障害

仕事をしていると回答した方に仕事の形態をたずねたところ、全体では「障害者施設（作業所など）で就労（59.7%）」が最も高い割合で、続く「非正規社員（パート、アルバイトなど）（19.3%）」を大きく引き離している。

障害の程度別では2度と3度で「障害者施設（作業所など）で就労」の割合が高いが、4度では「非正規社員（パート、アルバイトなど）（36.4%）」、「正規社員（22.7%）」を合わせると59.1%となっている。

図表 3-35 就労形態【知的障害】  
（全体、年齢別、年代別、障害の程度別）  
＜仕事をしている人＞

		正規社員	（パート、アルバイトなど）非正規社員	（自営業、家庭手伝いを含む）	内職	障害者施設（作業所など）で就労	その他	無回答
全 体 (n=119)		13.4	19.3	1.7	0.0	59.7	1.7	4.2
年 齢 別	10歳代 (n=4)	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=40)	10.0	32.5	2.5	0.0	50.0	2.5	2.5
	30歳代 (n=31)	22.6	16.1	0.0	0.0	51.6	0.0	9.7
	40歳代 (n=25)	8.0	8.0	0.0	0.0	80.0	4.0	0.0
	50歳代 (n=8)	12.5	25.0	0.0	0.0	62.5	0.0	0.0
	60歳代 (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	20.0
	70歳代 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳代以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満 (n=111)	12.6	20.7	0.9	0.0	60.4	1.8	3.6
	65歳以上 (n=3)	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
障 害 別 の 程 度	1度 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2度 (n=23)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	3度 (n=44)	9.1	11.4	2.3	0.0	72.7	0.0	4.5
	4度 (n=44)	22.7	36.4	2.3	0.0	27.3	4.5	6.8



**精神障害**

仕事をしていると回答した方に仕事の形態をたずねたところ、全体では「障害者施設（作業所など）で就労（45.3%）」が最も多く、「非正規社員（パート、アルバイトなど）（44.0%）」が僅差で続いている。

障害の程度別にみると、1級と2級は「障害者施設（作業所など）で就労」の割合が高いが、3級では「非正規社員（パート、アルバイトなど）」が80.0%となっている。

図表 3-36 就労形態【精神障害】  
（全体、年齢別、年代別、障害の程度別）  
＜仕事をしている人＞

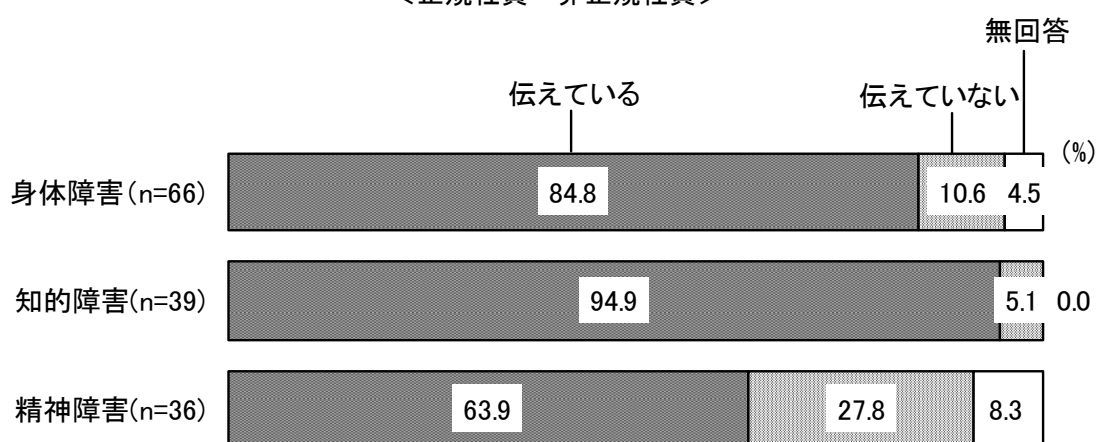
		正規社員	非正規社員（パート、アルバイトなど）	自営業（家業手伝いを含む）	内職	障害者施設（作業所など）で就労	その他	無回答
全 体 (n=75)		4.0	44.0	1.3	1.3	45.3	0.0	4.0
年 齢 別	10歳代 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=5)	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代 (n=23)	0.0	56.5	0.0	0.0	43.5	0.0	0.0
	40歳代 (n=23)	4.3	39.1	4.3	4.3	43.5	0.0	4.3
	50歳代 (n=12)	8.3	33.3	0.0	0.0	50.0	0.0	8.3
	60歳代 (n=10)	0.0	20.0	0.0	0.0	70.0	0.0	10.0
	70歳代 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳代以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年 代 別	65歳未満 (n=68)	4.4	47.1	1.5	1.5	42.6	0.0	2.9
	65歳以上 (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	20.0
程 度 別 の	1級 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0
	2級 (n=39)	2.6	30.8	2.6	2.6	59.0	0.0	2.6
	3級 (n=20)	5.0	80.0	0.0	0.0	10.0	0.0	5.0

(4) 勤務先への障害・病気のことの伝達（問 13-1（1））

問 13-1(1) 問 13-1 で「1. 正規社員」「2. 非正規社員（パート、アルバイト）」と答えた方にお聞きします。  
 あなたは、勤務先に自分の障害、病気などについて伝えていきますか。（1つに○）

問 13-1 で「正規社員」「非正規社員（パート、アルバイト）」と回答した人に勤務先への障害・病気のことの伝達をたずねた。身体障害、知的障害、精神障害とも「伝えている」がそれぞれ 84.8%、94.9%、63.9%である。

図表 3-37 勤務先への障害・病気のことの伝達（全体）  
 <正規社員・非正規社員>



(5) 「障害者就労支援センター」の認知（問13-1（2））

問13-1（2） あなたは、障害者の就労を支援する「障害者就労支援センター」（ちょうふだぞう，こころの健康支援センター就労支援室ライズ）を知っていますか，また，支援を受けていますか。（1つに○）

問13-1で「正規社員」「非正規社員（パート，アルバイト）」と回答した人に「障害者就労支援センター（ちょうふだぞう，こころの健康支援センター就労支援室ライズ）の認知をたずねた。身体障害は「知らない」が50.0%であり，「知っている，支援を受けている」は6.1%である。

知的障害は「知っている，支援を受けている」が71.8%であり，「知っているが，支援は受けていない（15.4%）」と合わせて《知っている》は87.2%となっている。

精神障害は「知っている，支援を受けている（36.1%）」と「知っているが，支援は受けていない（33.3%）」と合わせて《知っている》は69.4%となっている。

図表 3-38 「障害者就労支援センターの認知」（全体）

<正規社員・非正規社員>

